

# おもしろ算数(238) (小4年生)

(このページは、直接入力できません。そのまま見るか、印刷してもらって使ってね!!)

小学校4年生の みなさん、こんにちは。

おもしろ算数 (238) は、「変わり方」の問題です。



【問題】

つぎの①、②の問題に答えましょう。

① 1こ30円のあめを買います。

下の表に、代金を書きましょう。

買う数(こ)	1	2	3	4	5	6	7	...
代金(円)								...

② 買う数と代金には、どんなきまりがあるでしょう。

見つけたきまりをかきましょう。見つけただけ書いてください。

【じぶんのかんがえ】

答え. 下のようになります。

① 表はつぎのようになります。

買う数 (こ)	1	2	3	4	5	6	7	...
代金 (円)	30	60	90	120	150	180	210	...

② きまり 1... 買う数が1ずつふえると、代金は30ずつふえています。

きまり 2... 買う数が2倍、3倍、4倍、5倍、6倍、7倍になると、  
代金も 2倍、3倍、4倍、5倍、6倍、7倍になっています。

きまり 3... 代金を買う数でわると、すべて30になっています。

きまり 4... 買う数に30をかけると、代金になっています。

※②のきまりは、この4つのほかにも見つかるかも知れませんね。

このように、表からきまりを見つけるときには、次のような見方をするとよいでしょう。

◆... 表を横に見ます。

はじめに、買う数の表を横に見ます。(1ずつふえています。)

つぎに、代金の表を横に見ます。(30ずつふえています。)

だから、買う数と代金のきまりは、

「買う数が1ずつふえると、代金は30ずつふえています。」となります。

◆... 表をたてに見ます。

はじめに、表をたてに見て、代金を買う数でわってみます。

そうすると、 $30 \div 1 = 30$ 、 $60 \div 2 = 30$ 、 $90 \div 3 = 30$ 、... となっています。

だから、「代金を買う数でわると、すべて30になっています。」となります。

※表を横に見るときは、「いくつずつふえているか」「いくつずつへっているか」

「何倍になっているか」「何分の一になっているか」などをやってみましょう。

表をたてに見るときは、「たすといくつになっているか」「ひくといくつになっているか」

「かけるといくつになているか」「わるといくつになっているか」などをやってみましょう。

表をたて見ること、表を横に見ることは、きまりを見つけをするときの「大切な方法」なのです。